

退院支援事例⑦

嚥下造影検査により適した食事形態・
食事量の選択が可能となり、
施設への退院につながった事例

左被殻出血

70歳代男性 要介護5

入院に至る経過

脳出血と診断され、血腫除去術を施行、
経鼻経管栄養を導入されました。その後、
当院回復期病棟へ入院となりました。

入院中の取り組み

安全な食事形態の検討と嚥下機能の評価
を目的に嚥下造影検査（以下、VF検査）を
行いました。



※VF検査とは、
飲み込みの過程や
状態を正確に評価する
検査です。

舌などの動きが悪く、食物が口の中に残っ
てしまう様子がみられましたが、明らかな
誤嚥の様子は認めませんでした。主治医と
相談し、徐々に食事量を増量し、経口摂取
からの栄養補給は十分と判断され、経鼻経
管栄養は中止となりました。

多職種間で食事時の姿勢や介助方法の検
討を重ね、毎食濃厚固形食4碗を全量摂取
可能となりました。
施設への退院に
向けて、次施設へ食
事時の姿勢や介助の
方法等の申し送りを
行いました。



外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午後12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午後12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本	神田	林

赤字は女性医師

精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	田原	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	石川	当番医
5診		中島	もの忘れ 外来		西川	こども の心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制
（0745-64-2069）

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面 ○近鉄 大和八木駅（南側ローソン前）
橿原方面 ○近鉄 橿原神宮前駅 西出口
○JR 玉手駅（踏切南側）
高田方面 ○近鉄 御所駅（バスロータリー内）
○JR 高田駅（西出口側ロータリー内）
○近鉄 大和高田駅（正面ロータリー前）
令和3年8月2日



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

No.10 2022年4月1日発行

医療法人 鴻池会

秋津鴻池病院 ニュース 4

2022 March



秋津鴻池病院

2022年度 院長挨拶 医事課挨拶

摂食嚥下障害への取り組み紹介

退院支援事例 ⑦

➤嚥下造影検査により適した食事形態・
食事量の選択が可能となった事例

【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）

➤ 医療機関 入院相談専用

FAX：0745-64-2078

➤ 当日緊急対応が必要な場合

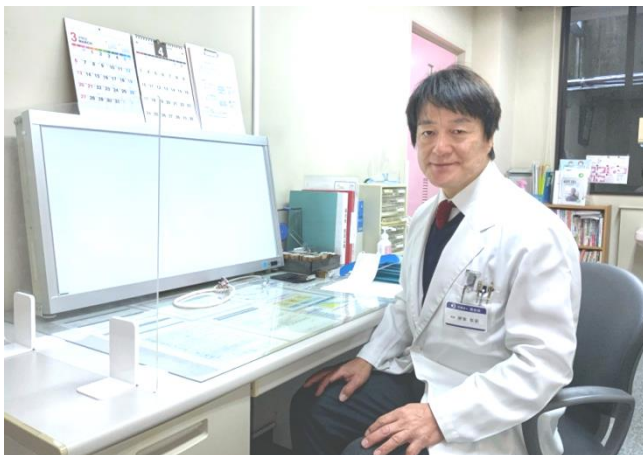
内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092





コロナ禍の中、西梅田の放火事件、ウクライナへのロシアの侵略戦争、東北の大地震など日常ではさまざまなことが起こっています。当院もコロナのクラスターを出しましたが、患者さんやご家族の協力を得て、職員一丸となって乗り切っているところです。

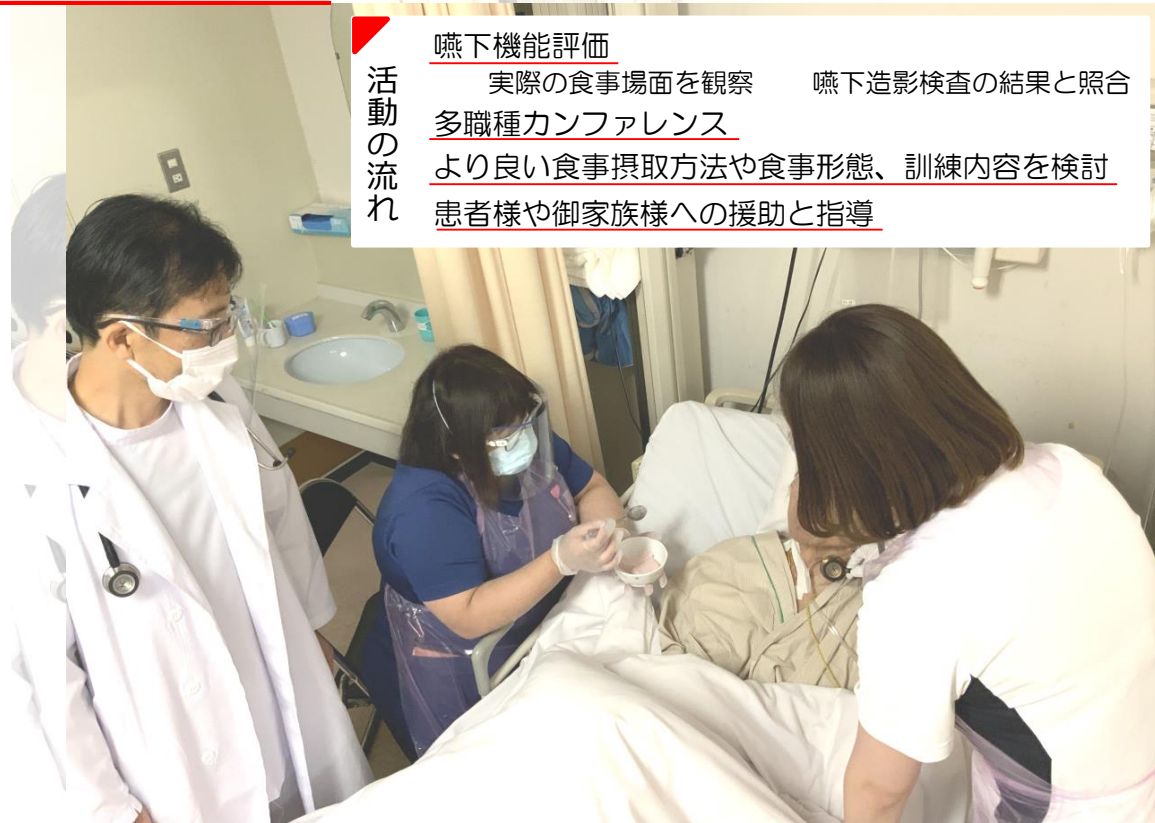
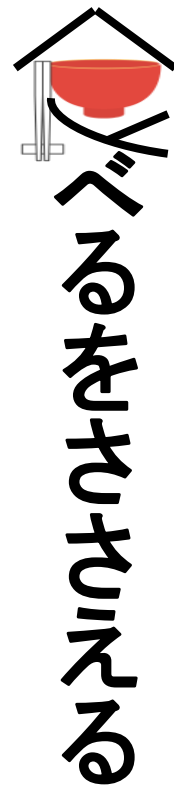
コロナに罹患された皆様には心よりお見舞い申し上げます。コロナなどで身体的劣化をきたした患者さんのリハビリにも力を入れて地域社会に貢献していきます。

院長 岸本年史

医事課より

当院の内科・精神科の通常外来は予約制ではなく、12:00までに受付をされた患者さんは待ち時間が長くなることがありますが、当日診療を行うという形で診療を行っています。また、従来から地域の先生方より多くの患者さんをご紹介頂き、予約制にて「もの忘れ外来」を行っております。昨年から開始した「こどものころの外来」も予約制にて診療を行っており、徐々に患者さんが増えております。引き続き、地域の患者さんの自立の支援を実践していきます。

医事課 課長 坂東



嚥下機能評価

実際の食事場面を観察 嚥下造影検査の結果と照合

多職種カンファレンス

より良い食事摂取方法や食事形態、訓練内容を検討

患者様や御家族様への援助と指導

活動の流れ



摂食・嚥下障害看護認定看護師

嚥下機能の評価や機能訓練を行い、誤嚥性肺炎や低栄養等の予防と安全な食事摂取の獲得を目指します。

患者様や御家族の「食べたい」「食べさせたい」という思いに寄り添い、食という楽しみを生きる力に繋げられるよう支援致します。



摂食・嚥下障害看護認定看護師
南 春花



期待される効果

「食べること」を続けるために、患者様一人ひとりにあった安全な食事形態や食事摂取方法を提供します。また、早い時期から介入することにより嚥下機能や栄養状態を改善し、在宅復帰支援と生活の質の向上につなげます。



地域の先生方へ

地域で暮らす療養者様にとって食べることは、残りの人生を謳歌する上での生きがいにもなります。在宅療養を続けながら可能な限り口から食べる喜びを感じていただく為に、支援したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。